

こしわ 越王だより

家庭数配付

地域回覧

発行所 新潟市立巻北小学校



<http://www.makikita.city-niigata.ed.jp/>

令和4年1月13日 No. 13



たくましく成長する1年に

校長 上澤田 誠

新しい年を迎えました。巻北小学校教職員一同、本年も子どもたちのために精一杯取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

今年は寅(とら)年です。勇敢で強いという動物としてのイメージから、「力強さ」や「たくましさ」、「物怖じせず果敢に挑戦すること」が大切な年とよく耳にします。また、今年の干支は「壬寅(みずのえとら)」で、その漢字がもつ意味から「厳しい冬を越えて芽吹き始め、新たな成長の礎をつくる時期」と意味付けされることもあるようです。

昨年は、新しいことに試行錯誤しながら取り組んだ1年でした。その代表的な例がタブレット端末の活用です。子どもたちは基本的な扱い方から始まり、入力や検索の方法、アプリを活用した情報共有や発信の仕方などを少しずつ学んできました。もちろん教師も学びながらです。

しかし子どもたちの習得ペースは思いの外速く、今では多くの子どもが教師の手を借りずに使えるようになっていきます。これまで自分の考えをまとめるのが苦手だった子が、タブレットを使って進んでまとめようとしていたり、実にユニークな表現を見せたりするなど、活用の手応えを既に感じ始めているところです。

「新しい生活様式」に即した行事等の見直しにも引き続き取り組んできました。皆様にご協力いただきながら『半日日程の運動会』や『マラソン大会の分散開催』などに挑戦してきましたが、その中で、子どもたちにも変化の兆しが見られました。昨年度と同様に文化祭でバザー等ができないことを知った6年生が、「自分たちの文化祭をなんとか盛り上げたい」「自分たちにできることは何かないのか」と考え、『巻北ミュージアムプロジェクト』を自ら立ち上げ実行に移したのです。

6年生は、手作りの案内パンフレット、各学年の作品PR動画、楽しく工夫した案内表示などで、文化祭を大いに盛り上げてくれました。圧巻だったのは、全校児童の作品をすべて鑑賞し、それぞれのよいところをメッセージカードに書いて集めた寄せ書きの掲示でした。メッセージをひとつひとつ読みながら、思わず胸に熱いものがこみ上げてきました。

主体的にものごとを考え、自らの手で自分たちの生活を創っていこうとする意識が子どもたちの中に芽吹きつつあることを感じています。



1月からは、各学年それぞれが次に向けての準備に入ります。「これまで学校をリードしてくれた6年生のために、自分たちに何ができるか」を考え、5年生が動き始めました。きっと、これまでに蓄えた力を生かして、新たな育ちを見せてくれることと思います。

寅年にふさわしく、子どもたちがたくましく成長する1年になることを心から願っています。

臨時学校評議員会を開きました

12月17日に、学校評議員の皆様と職員で、今年度の巻北小学校の児童の成長を教育ビジョンに照らし合わせて確認し合いました。課題が残ったところについては、今後どのような手立てを立てて取り組んだらよいのか、活発に意見交流を行いました。今回の話し合いをもとに、検討を重ね、来年度の教育ビジョンを作成していきます。



お互いに気を付けましょう

車での児童の送迎が多いために学校周辺が渋滞状況になり、地域住民の方から苦情や心配の声が寄せられています。巻北小学校では、一部の地域を除き、徒歩での登下校が基本になっています。地域住民の皆様にご迷惑をお掛けしないよう、また交通事故防止のため、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。